

# 議会だより やまもと

Vol. 193  
令和3年8月1日発行



山元中として初めての郡中総体壮行会

## 第2回臨時会

会期 4月27日

## 第2回定例会

会期 6月4日

6月11日

- 一般質問……………P2～11  
議員9名
- 意見書……………P14  
2件の意見書提出を可決
- 委員会報告……………P16～17  
閉会中の調査結果
- 審議結果……………P18  
定例会全議案等の結果

# 令和3年 第2回定例会

## 定例会概要



第2回定例会は、地震被害により使用停止していた議場が復旧し、6月4日から11日まで8日間の日程で開催されました。町長から提出された議案12件（報告4件、補正予算・条例・契約に係る議案8件）のほかに、議員発議・委員会発議を審議し原案通り可決しました。

また、一般質問では、環境整備、安全・安心なまちづくり等、町の取り組みを9人の議員が町長に質問しました。

## 一般質問 我が町政を問う

- ◇菊地 康彦 議員 ..... P3
  - ・障がい者就労支援と福祉サービスについて
  - ・我が町の環境問題について
- ◇渡邊 千恵美 議員 ..... P4
  - ・排水対策の進捗状況と農振除外について
  - ・「おくやみコーナー」の取り組みについて
- ◇高橋 建夫 議員 ..... P5
  - ・国事業の浚渫土砂を活用した取り組みについて
- ◇高橋 眞理子 議員 ..... P6
  - ・坂元中学校施設の今後の計画について
  - ・「にぎやかな過疎」のまちづくりについて
  - ・町内の景観づくりについて
- ◇伊藤 貞悦 議員 ..... P7
  - ・町民の望む各種サービスや環境整備について
  - ・安全・安心なまちづくりについて
- ◇大和 晴美 議員 ..... P8
  - ・コロナ禍における女性の負担軽減について
- ◇岩佐 孝子 議員 ..... P9
  - ・今後のまちづくりについて
  - ・地域活性化に向けた取り組みについて
- ◇橋元 伸一 議員 ..... P10
  - ・震災後の町づくりにおける復興事業の完遂と今後の課題、進め方について
- ◇遠藤 龍之 議員 ..... P11
  - ・県営水道事業の民営化（「みやぎ型管理運営方式」）について
  - ・「子育てするなら山元町」に見合った保育事業の取り組みについて
  - ・東部地区農地整備事業の取り組みについて

一般質問とは  
町の行財政全般にわたり、状況や見通しを、執行者に直接質問すること

# 障がい者が安心して暮らせる町政を

## 町長 関係施設や事業者と連携し進める



議員 菊地 康彦

**議員** 就労機会が少なく、工賃も安い現状を把握し、障がい者が自立できる町の支援をどのように考えるのか。

**町長** 現在の3事業所がサービスを提供しているが、コロナの影響で労働時間の減少により作業工賃に影響が出ている。提案があるべき方向にいかしたい。

**議員** グループホーム併設の就労支援施設が町に無いため、町外の施設に20名ほどの利用者がいる。農福連携とグループホームの建設により多くの障がい者が町内で安心して生活ができるのでは。



私達は、仕事に責任をもっています

## 我が町の環境問題に明確な結論を

### 町長 それぞれに問題意識をもって臨む

**議員** 空き地、空き宅地の雑草問題は大幅に改善しているという事だが、生活環境の悪化に対し、住みやすく、きれいな町づくりのため、条例制定が必要ではないか。

**町長** 条例制定は未然防止、抑止力につながれば意味がある。少しずつ議論を深め、場合によっては罰則規定を検討するに値すると思う。

**議員** 浜通り住宅地の暴風による飛砂被害対策をどのように考えているのか。

**町長** 大きな問題なので、問題意識をもって被害のないように努めたい。

**議員** 防風ネットの対応はできないのか。

**町長** 県と連携して必要な手当てを講じ、極力被害がでないように工夫し、浜通りの住民の生活環境を保全したい。

**議員** 国が決定したALPS処理水の海洋投棄により、さらに風評被害が心配されるが。

**町長** この問題に対して、国や県の取り組みが整ってきた。今後、国民が納得できる議論を深めていただくよう望む。

**議員** 国、県ではなく、町が先頭に立ち、漁業を守る姿勢が大事ではないか。漁業者にとつては、仕事を奪われることが一番の被害である。町執行部のさらなる対応を期待する。

# 排水対策・農振見直しで宅地整備を

## 町長 良好な維持管理に努め今後検討する



わたなべ ちえみ 議員  
渡邊 千恵美 議員

**議員** 山下大沢川は大雨により氾濫する。現在、土のうが積みまれているが今後の改善・対策について伺う。

**町長** 日頃から定期的な浚渫などの維持管理を行っている。今後の改善は懸樋撤去の事業効果も検証し対応する。

**議員** 懸樋撤去により水門の氾濫を防げるのか。

**町長** まずは工事を施工・検証をし、必要な対応を行う。

**議員** 上西田地区（役場から山元中学校までの農地エリア）における貯水池の整備等、雨庭対策の考えはないか。



水門に積み上げられた土のう（山下大沢川）

**町長** 土地の権利関係や財源等の課題がある。引き続き河川や排水路の維持管理に努めていく。

**議員** 国も気候変動の対応として雨庭対策の普及を進めている。本町も可能な場所からグリーンインフラを取り入れ減災に取り組む必要があると思うが。

**町長** 基本的には排水不良箇所改修に努めていく。

**議員** 排水対策の実施と併せ、上西田地区を住宅地として農振を見直しする考えはないか。

**町長** 排水系統・河川系統ごとに計画的な維持管理を行い、地区の状況も踏まえ、農用地区域から除外できるか検討する。

※農振：農業振興地域の略で、農業振興地域整備計画により、農業を推進することが必要と定められた地域のこと。

※浚渫（しゅんせつ）：港湾・河川・運河などの底面を浚（さら）って土砂などを取り去る土木工事。

※懸樋（かけひ）：地上にかけ渡して水を引くための樋（とい）。

# 「おくやみコーナー」の設置を

## 町長 開設に向け 取り組んでいる

**議員** 「おくやみコーナー」の設置と併せ「終活のしおり」（エンディングノート）の作成に取り組む考えはないか。

**町長** 遺族の負担軽減を目的に「おくやみコーナー」は、本年秋頃開設に向け取り組んでいる。

「おくやみのしおり」も、開設に併せ配布準備を進める。「終活のしおり」については、今後先進地の事例を調査研究する。

**議員** どのような「おくやみコーナー」をつくるのか。

**町長** 最大70程の手続きをワンストップで対応できるよう鋭意取り組む。

**議員** 手続きに関してデジタル化も含めた取り組みを行うのか。

**町長** どこまで国の流れに合わせられるかが課題である。

# 国事業の阿武隈川浚渫土砂の活用は

## 町長 避難道路・東部農地等に活用する

**議員** 国は一昨年から6年度までに阿武隈川浚渫土砂（以下、本浚渫土砂という）、総量約70万<sup>3</sup>mの河道掘削を進めている。そのうちどれ位、各自自治体で有効活用が可能で、その後も同クラスの掘削が予定されているのか。

**町長** 現段階で町は、約14万<sup>3</sup>mを申し込んでいる。その後、国の浚渫計画により検討する。

**議員** 国は一昨年から6年度までに阿武隈川浚渫土砂（以下、本浚渫土砂という）、総量約70万<sup>3</sup>mの河道掘削を進めている。そのうちどれ位、各自自治体で有効活用が可能で、その後も同クラスの掘削が予定されているのか。

**議員** 四番作道は町の工事時期に合わせ、国が土砂の運搬と敷きならしまで行った後、町の工事完了が6年度までかかるのか。

**町長** それらの盛土材として、本浚渫土砂を6年度まで総量約14万<sup>3</sup>mの受け入れを依頼した。さらに、つばめの杜北側市街地拡大にも活用が期待でき、その他の活用も含め、その約3倍の利用量が見込まれる。

**議員** 農業用ため池が53箇所あるが、農業用水の役割を終えた池が多少ある。本浚渫土砂で埋め、行政区の災害時の車避難場所、各種イベント、コミュニケーションの場とする考えは。

**町長** 排水という前提での土地利用の合意形成が図られ、行政区等の要望があれば、検討しやすい。

**議員** 本浚渫土砂利用は、今後の町の用途地域の指定や農振農用地区域の指定と併行し進めるべきである。

**議員** 町全体として、本浚渫土砂を活用し、利便性の良いエリアで働き場所の確保や民間の宅地開発計画しやすい取り組みは。



たかはし たてお 議員  
高橋 建夫

**町長** 常磐道全線の4車線化が進み、もっと利用価値が高まる。指摘周辺の開発をしっかりと共通認識しながら、持続可能なまちづくりにも大いに関係する。

**議員** 町全体として、本浚渫土砂を活用し、利便性の良いエリアで働き場所の確保や民間の宅地開発計画しやすい取り組みは。



浚渫作業準備中の阿武隈河川河畔

# 坂元中学校施設の今後の計画は

町長 先導事例を参考に、鋭意、検討する



たかはし まりこ 議員  
高橋 眞理子 議員

**議員** 利活用について、どのような構想があるか。

**町長** 今年度中を目途に一定の整理を行い、地域にさらなる賑わいと活力を生み出す、新たな目的をもった施設を検討していく。

**議員** 町長の描いている構想はあるか。  
**町長** 今のところないが、一定の広さがある敷地や校舎を、段階的、細切れに利活用するか、あるいは、全体を一体的にするのがいいか、という基本的な部分を押さえながらやっていくことが大事である。

**議員** 昨年の1月に、坂元地区行政連絡調整

会議から出ている3点の提言がある。①40人から50人規模の保育所②体育文化センターをこの地に移転③温泉など入浴施設、合宿所、宿泊所や専門学校誘致、体験型観光の交流拠点。これらについては。

**町長** 今後の検討に反映していく必要がある。議論していきたい。体育文化センターについては、2月の地震による大きな被害で、耐震診断の結果待ちという事など、状況が刻々と変化している。



今後の活用が期待される坂元中学校

**議員** 地域住民の皆さんの意見や要望を聞くワークショップを開いては。

**教育長** どのような手法がベターなのか考えながら、意見集約を行なっていく。

**議員** 民間事業者の資金や技術力を活用し、アイデアやノウハウを生かせる、PFIの手法が各自治体、巨理町等でも導入されているが。

**町長** 今後、本格的な検討段階に入ったら、深く考慮し見極めていく。

## 「にぎやかな過疎」のまちへ移住を

町長 人口の「社会増」

継続に取り組む

**議員** 移住・定住の進んでいる町のHPは、情報内容が豊富で、工夫を凝らしてあり関心を引く。本町の取り組みは。

**町長** 他の自治体と比較すれば、まだ充実の余地がある。横の連携を取り、ワンストップで必要な情報が得られ、広がりのある内容に取り組むことが急がれる。

**議員** 移住相談やサポートを充実させるよう、PR活動専任の移住コーディネーター（東松島市）、移住定住コンシェルジュ（栗原市）などを配置することは重要と考えるが、人員不足では。

**町長** 班長を含む3人

### その他の質問

四季を彩る花壇整備について  
障がいを持つ方々の就労や住民との協働、民間団体などからの協力で、来訪者も楽しめる、花いっぱい景観づくりに取り組む考えは。

で、空き家バンクや定住補助金、定住に関する情報のHPの更新作業を行っている。  
現在、制度が活用され実績・成果を上げている。今のやり方を基本にし、必要な体制整備を検討していく。  
**議員** 移住の流れが高まっている。もともと本腰を入れ取り組むべきである。

# 子育て世代専用住宅建設の考えは

## 町長 既存住宅を活用しよう知恵を絞る



議員 貞悦 伊藤

**議員** 子育て世代専用の住宅を設置し安価な家賃で提供し、移住・定住希望者を増やす考えはないか。

**町長** 新たな形で整備するよりは、今ある町営住宅を活用できるように知恵を絞っていく。

**議員** プールの跡地や役場敷地内に、3・4階建ての新婚・子育て専用住宅を建設する考えはないか。

**議員** 民が問題意識を共有できるか、それを問われると考える。

**議員** 我が町の移住・定住対策は、県内で一番の支援策で土地を購入し住宅を建ててもらおう施策である。しかし、若者は安価で環境のよい住居に住んで子育てと教育をし、マイホーム建設は、次の段階でという考え方が多いようである。

**議員** 将来を考えたとき、早めに次の手段を講じないと手遅れになる。新市街地の住宅を活用することは、入居者の世代交代を待つというところで、今後の町づくりには遅すぎないか。

**町長** 新たな事業として取り組むべきかどうか、議論を深めながらよい方策を見いだしていきたい。

**議員** 子育て世代にとって費用の支援が一番と考えるが、保育所の副食費や小中学生の給食費は無償化できないか。

**町長** 子育て施策の充実強化に努めてきた。他の施策との関係上、慎重に財源確保を含めて検討していく。

**議員** 最終的には全額を補助して欲しいと考えるが、米の現物支給とか段階的な支援を含め、努力の姿勢を示すべきである。



近くにアパートがあればいいね

## 抜本的な排水対策は考えられないか

### 町長 問題意識を持ち実施してきた



**議員** 時間がかかっても排水の抜本的な解決をする考えは。

**町長** 問題意識を持つて対策に当たってきた。今後は町独自の考えや単独財源で進めることになり、相当の覚悟を決めてやらざるを得ない。本町の財政規模では非常に難しいと捉えている。

**議員** 着実に排水対策を強化できるよう取り組んでいくことを求める。

# 小中学生へ生理用品の無償提供を

## 町長 防災備蓄品入れ替え時に検討する



やまとはるみ 大和晴美 議員

**議員** すべての指定避難所に防災必要品としての生理用品を備蓄しては。

**町長** 山下地域交流センターと山元中学校に一定数を備蓄している。消耗品等の備蓄については、主要3避難所に一定数を備蓄し、長期的な避難となる場合は災害協定等に基づき、事業者との連携により必要数を確保する流通備蓄が肝要である。

**議員** 備蓄の生理用品が少なければ担当者も避難者も心配する。すべての指定避難所に生理用品が備えてあれば、安心して過ごせる

のでは。  
**町長** 備蓄品については相当数の品数に上っている。町内あるいは隣町に商業施設があるので、事業者との連携を大切にし、いざという時の確保に努めたい。

**議員** 県内の他自治体では、自立相談支援窓口や子育て世代包括支援センターで生理用品を配布している。本町でも公共施設で配布しては。

**町長** 保健センターや学校の保健室に置いている。県でもNPO等への委託の中で配布を予定している。県内他自治体の状況を参考にして対応する。  
**議員** 小中学生へ生理用品の無料提供に取り組んでは。

**教育長** 現在、生理用品を保健室に準備し、必要に応じ提供している。今後は、防災備蓄品の入れ替え時に無償

提供を行うなど家計の負担軽減を図る。

**議員** 蔵王町では、養護教諭が手作りの生理用品を入れるポケット袋を全小中学校の洋式トイレに配備した。このような取り組みを本町でも行っては。

**町長** 社会福祉協議会で配布という他自治体の紹介もあったので、参考にしてより良い形での配布体制を検討する。

**議員** 配布にあたって専用カード（ミモザカード等）の活用に取り組んでは。

**町長** 対象者が気軽に利用できるよう、今後、設置箇所の検討や周知を行い、不安を抱える女性を支援する。

**議員** 女性の貧困問題についての相談体制整備に取り組んでは。

**町長** 県では様々な悩みに対し、女性相談員が対応する相談事業を実施している。今年度



保健センターのトイレに

新たに対象となる女性に対して生理用品の提供を行うなどのサポートを始めると聞いている。県内5地域に専門の法人等が窓口を開設することとしているので、町においても対応が困難なケースについてはこの窓口につないでいく必要がある。

# 若者が町づくりに 参画できる環境を

## 町長 今後検討する

**議員** 次世代を担う青少年が、夢を実現し、希望の持てる町づくりに参画できる環境整備が必要である。小・中学生や青年を対象とした「模擬議会」の開催の考えはないか。

**町長** 「模擬議会」は、町政や議会への関心を深めるとともに、教育的観点を有する。関係機関が一体となり、取り組むことが肝要で、今後検討する。

**議員** 幼い頃から選挙の役割や権利の主張と義務履行について考える機会を与え、「模擬議会」で提出された意見等を具現化する考えは。

**町長** いろいろな声を少しでも取り入れるよう努力をしていく。



いわさ たかこ  
岩佐 孝子 議員

## 防災の環境整備を

### 町長 状況を見ながら対応していく

**議員** 東日本大震災時には停電などにより、陸の孤島と化したわが町。町内11施設のオンライン環境整備はされたが、どのように利用されているのか。

**町長** 避難所にWi-Fi環境を整備した。県の「みやぎFree Wi-Fi」の機能を付加し利用者の利便性の向上に努めている。

**議員** コロナ禍において、人的交流が困難であり、多くの自治体で、オンラインによるテレワーク、学習活動、コミュニティに活用している。わが町でも町民がもっと活用しやすい環境整備をするべきではないか。

**町長** 町民からの要望数はそう多くはないが、今後検討していく。

**議員** ZOOM等を活用した学習推進を図るためにも環境整備は必要である。

**町長** 必要性をしっかりと



地名や施設名が欲しいね

り見極めていく必要がある。

**議員** スマホのテザリングを利用すると、通信速度が遅くなり、通信不可能となる場合もある。会議・研修もオンライン化を推進するため必ず実現すべきである。

**議員** 避難誘導表示箇所の増設、分かりやすい誘導表示の設置について伺う。

**町長** 増設等については、設置して間もない

ことから状況を見ながら対応していく。

**議員** 県道相馬巨理線では、「6号」とだけ表記されているが、非常に分かりにくい。地名や施設名の表示の仕方を工夫し、早急な対応を求める。

2月の地震により被災した小・中学校の体育館は、児童生徒の授業に支障がでないよう、また、災害時の避難所として活用されることも含め、早急に改修するべきである。

# 復興事業の完遂と今後の課題は

## 町長 人口減少対策は最重要課題である



はしもと しんいち 議員  
橋元 伸一

**議員** 復興期間の10年が終了し、復興事業も完遂間近となり、現時点で捉えている課題は。  
**町長** 全国で人口減少、少子高齢化が駆け足で進んでいる現状であり、本町においても人口減少対策は最重要課題である。これまでに、ライフステージに沿った切れ目のない子育て支援、県内最高水準の移住定住支援事業に取り組んできた。



若い世代が次々と定住している

**議員** 子育て世代の定住促進において重要なのは、保育事業の充実と考える。女性の社会進出や核家族化により、0歳児から2歳児のニーズが高まっていることは、町長も認識しているようだが、今年度の待機児童はいるのか。  
**町長** 4月の時点で6人である。  
**議員** 保育士の数に問題はなにか。  
**町長** 追加で会計年度任用職員を3名募集中である。  
**議員** 待機児童対策として、9月開所予定の小規模保育事業が進められているが、待機児童を出さないよう早期に対策対応するべきである。  
**議員** 「子育てするなら山元町」「住むならやっぱり山元町」などのキャッチフレーズで定住促進事業を進めているが、子育て支援策として、一時的なものではなく、給食費や副食費、医療費など、継続的な経済的支援は考えられないか。  
**町長** 「妊娠、出産、子育て」と、ライフステージに応じた観点を大事にしながら積み上げていく。活用状況を検証し、時折の制度の見直しも大事である。  
**議員** 「住んでよかった」と言われるような支援策を。  
次に、危機管理体制における課題はないか。近年、自然災害が多発しているが、特に災害対応時における職員の行動マニュアルは。  
**町長** 与えられた中で、速やかに災害対応ができるよう、自分の果たせる役割を理解し、行動に移すという積み重ねが大事である。  
**議員** 各施設の夜間管理を業務委託しているが、連携は図られているのか。  
**町長** 町内10カ所の避難所に50名の職員を割り当てている。夜間であっても迅速に対応できる体制を整備している。  
**議員** 各種関係機関との連携を図り、万全の仕組みを構築すべきである。  
かさ上げされた県道

相馬巨理線も開通し、さらなる安全確保が確認された。津波防災区域（危険区域）の見直しや沿岸部の非農地の土地利用も、今後の大きな課題である。

# これまでの待機児童対策は万全か

## 町長 4月1日現在、待機児童6人



えんどう たつゆき 遠藤 龍之 議員

**議員** 「子育てするなら山元町」に見合った取り組みについて、待機児童問題のこれまでの取り組みや対応等を具体的に検証し、早急に抜本的な解決が求められている。待機児童対策は万全か。

**町長** 宮城病院のつくし園の受け入れを6人から11人に拡大した。なお、保育士の採用や小規模保育事業の整備を進め、待機児童解消に向け努める。

**議員** これら対策の結果、待機児童はなくなったか。

**町長** 以前担当課長から回答したとおりである。課長 4月1日現在、6人である。

**議員** まだ待機児童がいることに対し、どう思うか。

**町長** 小規模保育施設が完成すれば、どこまで調整できるかである。

**議員** 待機児童が生まれる要因をどう考えているか。

**町長** 予想以上に保育所利用希望者が多かった。

**議員** 待機児童の問題を意識し始めたのは、いつ頃か。

**町長** ここ数年来である。

**議員** 待機児童対策について、やらなければならぬことをしなかった結果、問題を引き起こしている。改めて確認した。その対策としての小規模保育事業の取り組みは。

**課長** 2年4月検討スタート。現在の進捗は、事業者の募集、選定委員会での業者決定、9月の開所に向けて進んでいる。

**議員** 遅れ等の問題はないか。

**課長** 実際に動き始めたのが今年度4月以降となる。

**議員** これまでの説明では、7月開所が9月開所に延期となり、取り組みに不安が残るが大丈夫か。

**町長** 事業主体は民間であり、町が設置する訳ではない。そこところを間違わないほしい。事業者側の都合もある。

**議員** 待機児童対策は町の方針で取り組む事業であり、事業主体は民間ではない。待機児童を巡る問題は深刻な事態を迎えている中、待機児童を1年近く放置しているという深刻な事態も確認しているが、待機児童世帯の生活を思いやるべきだ。

**議員** 待機児童対策は町の方針で取り組む事業であり、事業主体は民間ではない。待機児童を巡る問題は深刻な事態を迎えている中、待機児童を1年近く放置しているという深刻な事態も確認しているが、待機児童世帯の生活を思いやるべきだ。



## 県の水道民営化で値上げ等の変化は

### 町長 県が責任を持つ、町への影響はない

**議員** 県の水道民営化について、水道料金値上げ、水質の管理、災害時の対応等、住民の不安、懸念が指摘されているが、町への影響はないか。

**町長** これまで同様に県が責任を持って担当するため、総合的に判断し町への影響はない。

#### その他の質問

- 東部地区農地整備事業について
- ①不具合の取り組みとその後の進展は。
  - ②耕作可能地の整備状況は、計画年度内に間に合うか。
  - ③整備地区内の土量移動の内訳は。

# 地震災害・新型コロナウイルス感染対策等関連予算

可決

## 補正予算の概要

今回の補正は、一般会計予算のみで福島県沖を震源とする地震に関連する地震災害復旧費と、新型コロナウイルス感染等による、低所得世帯に対する生活支援事業が主な予算となり、7億4,485万円を増額補正し、総額86億4,250万円となりました。



亀裂の入った道路（道合地区）



解体される老人憩いの家

## 主な事業

- ・老人憩いの家解体設計事業 222万円
- ・子育て世帯生活支援特別給付金事業 650万円  
(低所得の子育て世帯 5万×130人)
- ・坂元地区排水対策事業 700万円
- ・山下第一小学校改修事業 867万円
- ・公共土木施設補助道路災害復旧工事（42カ所） 4,456万円
- ・災害廃棄物処理事業（解体・負担金補助等） 2億9,085万円
- ・文化財町営住宅災害復旧事業 3,740万円
- ・公立学校施設災害復旧費 9,396万円  
(坂元小、山下小、山元中体育館)

補正予算  
質疑

### ○町営住宅災害復旧事業

議員 住宅管理委託料3740万円の場所と件数は。

課長 合戦原住宅6戸と道合住宅の2団地が対象となる。

議員 町道合住宅の被害内容は。

課長 インターロックの隆起と外壁の亀裂、外部フェンスの基礎ずれなど。

議員 被害額はいくらか。  
課長 1140万円である。

### ○子育て世帯生活支援特別給付事業

議員 低所得の子育て世帯一人当たり5万円支給は、一時的か今後も続く施策なのか  
課長 全国共通で一時的な支援である。

### ○坂元地区排水対策事業

議員 排水対策検討業務委託料700万円は、防災調整池から坂元川に直接排水するための仮設ポンプ設置の委託料か。

課長 県の河川課との協議資料を作る予算となる。



条例廃止

山元町老人憩の家に関する条例を廃止する条例

(議案第33号)

令和3年2月の福島県沖地震により被災した老人憩の家について、改修の課題、及び社会情勢の変化により施設利用が見込まれないことから、施設を廃止するとし、条例を廃止するもの。

【施設概要】

名称 (位置)	山元町老人憩の家 (山元町高瀬字合戦原100番地の1)
設置年月	昭和51年4月 (築45年)
構造	木造平屋建て
延べ面積	434.26㎡
	被害の程度：大規模半壊 改修費用：構造補強エントランスサッシ等の取替え、設備機器交換、内部仕上げの改修等、断熱材追加改修、基礎補強、解体費用も含め新築額と同程度

条例一部改正

山元町放課後児童クラブ設置に関する条例の一部を改正する条例

(議案第34号)

放課後児童クラブ利用料に、長期休業の期間のみ利用する場合の利用料を設定する。

【改正内容】

(単位：円)

区分	休業期間 (開館日数)	改正後 (休業期間に応じた金額)	改正前 (月額 3,000)
夏季休業	7月21日～8月25日 (25日間)	夏季休業期間 3,000	7月 3,000 8月 3,000 計 6,000
冬季休業	12月24日～1月7日 (8日間)	冬季休業期間 1,000	12月 3,000 1月 3,000 計 6,000
学年末休業	3月25日～3月31日 (6日間)	学年末休業期間 750	3月 3,000
学年始休業	4月1日～4月7日 (6日間)	学年始休業期間 750 計 1,500	4月 3,000 計 6,000



契約 (議案第35・36・37号)

名称	金額 (税込)	落札率	相手方	工期
令和2年度 漁機請1号 磯浜漁港北防砂堤Ⅱ補修工事 (変更)	増額2183万1700円 (総額1億1676万1700円)	—	東洋建設株式会社 東北支店 (仙台市)	令和3年 8月31日
交通安全補助請1号 大平牛橋線橋田橋下部工工事	1億5136万8800円	88.99%	(株)ビーエス三菱 東北支店 (仙台市)	令和4年 3月28日
一般国道6号と町道 (仮称) 新浜諏訪原との交差接続工事	5600万2100円	随意契約	東北地方整備局長 (仙台市)	令和4年 2月28日

# 2件の意見書提出



県知事へ意見書提出

## 意見書とは？

地方公共団体の公益に関することについて、国会や国、県などの関係行政庁に対し、議会の意思をまとめて提出する文書のこと。

## 議発第1号

### 災害対策関係法律の改正を求める意見書

提出者 竹内 和彦  
賛成者 橋元 伸一

#### 提案理由

本年2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震に対する各種支援については、災害対策関係法律の適用の有無により自治体間で支援格差が生じていることから、被災者に対しての格差が生じないように、被災地をはじめとした幅広い関係者の意見を丁寧に聴きながら、災害対策関係法律の現行法の見直しを行うとともに、具体的な新たな支援対策を含めた法整備を行うことを強く求めるものである。



被害の大きかった瓦屋根

## 委発第1号

### 東京電力福島第一原子力発電所事故により発生した処理水の海洋放出決定について十分な説明と慎重な対応を求める意見書

提出者 産建教育常任委員会  
委員長 菊地 康彦

#### 提案理由

東京電力福島第一原子力発電所事故により発生した処理水の海洋放出決定については、地元をはじめとした幅広い関係者の意見を丁寧に聴きながら、海洋放出についての十分な説明とその他の処分方法の検討等、慎重な対応を強く要望するものである。



風評被害が懸念される磯浜の漁業

# 令和3年 第2回臨時会

## 臨時会概要

4月27日（木） 福島県沖地震対策、災害援護に関する条例の一部改正を主とした臨時会が開催されました。

町長提出議案13件（報告3件、承認7件、議案3件）を審議し、全ての議案を原案通り可決しました。



### 新規条例

山元町災害援護に関する条例

(議案第28号)

- 町、弔慰金の廃止（災害救助法の摘要を受けない）
- 負傷見舞金の廃止
- 損害見舞金の見直し
  - ・準半壊、部分焼 損害の割合が10% 3万円
  - ・半壊、半焼 損害の割合が20% 5万円
  - ・以上50%未満 損害の割合が50% 7万円
  - ・全壊、全焼 以上

#### ◇主な質疑

- 議員** 今回の見直しで前進した部分があるが、死亡者や負傷者の項目は検討したのか。
- 課長** 今回は損害見舞金に重きを置いて見直しをした。
- 議員** 弱者救済の観点から、検討はしなかったのか。
- 町長** 町としては今回、相対的な判断をした。
- 議員** 今後、状況が変化すれば改正もあり得るのか。
- 町長** その時々々の被災状況を検討し、必要な支援策を措置する必要があると考える。

### 補正予算

山元町一般会計補正予算（第1号）

(議案第29号)

#### ◇主な内容

- ・新生児特別定額給付金（1人10万円） 600万円
- ・被災者住宅再建支援金 5503万円
- ・瓦屋根改修補助金 7200万円
- ・コロナ感染症拡大防止協力金 4340万円
- ・奨学生緊急支援金給付費 728万円
- （高校生1人3万円、大学生1人5万円）

#### ◇主な質疑

- 議員** 奨学金の緊急支援、該当人数は。
- 課長** 現在の町の奨学金利用者は0名だが、今回の予算については、高校生が46名、大学生が100名、その他、育英基金・奨学金受領者24名を見込んでいる。
- 議員** 本町に住所がある通学生や保護者であること以外に条件はあるのか。
- 課長** その他の条件はない。
- 議員** 支給金額3万円と5万円の金額の根拠はあるか。
- 課長** 昨年度、高校生が2万円、大学生が3万円としており、コロナ禍が長引いていることを勘案して増額した。

# チェック!!

## 民生民務 常任委員会

### ○空き家対策

**調査日**

5月12日

### 調査内容

令和2年度空き家利活用  
の取り組み状況及び  
令和3年度空き家等の  
利活用促進に向けた計  
画について調査した。

### 意見

調査は平成28年度の調  
査結果がベースとなっ  
ているが、行政区長等  
の協力を得るなどし  
て、年度ごとに情報を  
更新することが望まれ  
る。また、関係課等で  
連携し協力体制づくり  
を図り、登録数及びさ  
らなる利活用の促進を  
図るべきである。

### ○高齢者福祉と障がい者福祉

**調査日**

4月14日・5月12日

### 調査内容

①高齢者福祉  
「高齢者保健福祉計  
画」・「第8期介護保  
険事業計画」により、計  
画概要、高齢者の状況、  
介護費兼サービス給付  
費、保険料の推移等に  
ついて

②障がい者福祉  
「山元町第3期障害者  
計画」・「山元町第6期  
障害福祉計画」・「2期  
障害児福祉計画」によ  
り、計画、施策の取り  
組み、福祉サービス等  
について調査した。

### 意見

①高齢者福祉  
支援体制の構築につい  
ては庁舎内での連携、  
民間事業者、社会福祉  
協議会とも協力し、高  
齢者介護等のさらなる  
サービス向上を図るこ  
とを期待する。  
②障がい者福祉  
安心して社会生活を送  
ることができるよう、  
各種サービス、権利の  
周知徹底を図るとも  
に支援体制を早期に構  
築すべきである。



### ○小規模保育事業

**調査日**

4月23日

### 調査内容

施設利用者数、待機児  
童の推移、小規模保  
育事業概要(建設予定  
地・開設スケジュール)、住民説明会の実  
施状況等について調査  
した。

### 意見

小規模保育事業の開設  
予定が7月から9月に  
遅れたことが、結果的  
に待機児童につながっ  
ていると考えられる。  
国も保育の受け皿整備  
に力点を置いているこ  
とから、本町において  
も力を入れて取り組む  
べきである。



新設予定の小規模保育所 (つばめの杜)

### ○スポーツ・レクリエーション複合施設整備事業

**調査日**

5月20日

### 調査内容

事業の進捗状況等  
について調査した。

### 意見

進展がないため、継続し  
て調査する必要がある。

# 町の仕事を

## 産 建 教 育 常 任 委 員 会

○東部地区農地基盤整備事業と営農の進捗状況

**調査日**  
4月14日

**調査内容**  
進捗状況

補完工事、排水状況、  
換地業務  
営農状況  
水田、畑地

**意見**

①換地同意率については、農地84%、非農地62%は低いのではないかと。今年度換地計画、来年度は換地処分登記などスケジュール的に過密であるため非常に困難と予想できる。十分な対応を図りたい。  
②耕作者未定の農地や未耕作地については、農業委員会などの関係機関と情報を共有し、基盤整備だけでなく営農までの環境整備対策

までを考慮した対応を図りたい。  
③補完工事終了後、耕作中での不具合については、予算の裏付けを町と県で十分協議しておく必要がある。



補完工事中の畑地

○地震災害復旧状況

**調査日**  
5月19日

**調査内容**

福島県沖地震等に係る被害及び災害復旧状況（河川及び道路等、農業施設、学校施設、生涯学習関連施設）について調査を実施した。

**意見**

①屋根瓦などの改修補助等に関する町民の相談には、丁寧に対応されたい。  
②学校施設の改修工事については、子どもたちが安心して学校生活ができるよう、夏休みを十分活用し早急に完了すべきである。

○パークゴルフ場

**整備等**

進捗がないため、調査は未実施。

### 【報告事項】

- 1 防災重点農業用ため池の再選定
- 2 除融雪体制の見直し
- 3 排水対策に係る進捗状況・今後の予定
- 4 町指定文化財茶室等の整備基本計画の概要と概算整備費
- 5 小中学校の二学期制の検討

### 意見

- ・住民が安心安全な生活ができる環境整備を優先すべきであり、事業計画・実施については、優先順位を考慮されたい。
- ・小中学校の二学期制の検討については、メリット・デメリットを把握し慎重に対応すべきである。
- ・大震災から10年が経過したが、未着手法線や工事の遅れている避難道路がある。住民の安心・安全を確保するため早急に整備すべきである。



段差が生じた渋沢ため池

## ○令和3年 第2回臨時会 議案等の審議結果

議案番号	議案名	結果
報告第3号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）※請2号 頭無西牛橋線道路改良工事	報告
報告第4号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）※請3号 頭無西牛橋線道路改良工事	
報告第5号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）※国道6号と町道（仮称）新浜諏訪原線との交差接続工事に関する契約	
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（山元町町税条例等の一部を改正する条例）	承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（山元町復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例）	
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて（山元町過疎地域自立促進特別措置に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例）	
議案第7号	専決処分の承認を求めることについて（新型コロナウイルス感染症に伴う山元町国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例）	
議案第8号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度山元町一般会計補正予算・専決第7号）	
議案第9号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算・専決第1号）	
議案第10号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度山元町後期高齢者医療特別会計・専決第1号）	
議案第28号	山元町災害援護に関する条例の一部を改正する条例【P15に掲載】	可決 (全員賛成)
議案第29号	令和3年度山元町一般会計補正予算（第1号）【P15に掲載】 ※コロナ感染症関連支援及び福島県沖地震町独自支援経費	
議案第30号	令和3年度山元町水道事業会計補正予算（第1号） ※コロナ感染症関連支援経費	

## ○令和3年 第2回定例会 議案等の審議結果

議案番号	議案名	結果
報告第6号	繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第7号	事故繰越し繰越計算書について	
報告第8号	山元町水道事業会計予算繰越計算書について	
報告第9号	山元町下水道事業会計予算繰越計算書について	可決 (全員賛成)
議案第31号	東日本大震災に伴う山元町国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例	
議案第32号	山元町手数料条例の一部を改正する条例	
議案第33号	山元町老人憩いの家に関する条例を廃止する条例【P13に掲載】	
議案第34号	山元町放課後児童クラブ設置に関する条例の一部を改正する条例【P13に掲載】	
議案第35号	令和2年度 漁機請1号 磯浜漁港北防砂堤Ⅱ補修工事請負契約の変更について【P13に掲載】	
議案第36号	令和3年度 交通安全補助請1号 大平牛橋線橋田橋下部工工事請負契約の締結について【P13に掲載】	
議案第37号	一般国道6号と町道（仮称）新浜諏訪原線との交差接続工事に関する令和3年度契約の締結について【P13に掲載】	
議案第38号	令和3年度山元町一般会計補正予算（第2号）【P12に掲載】	
議案第1号	災害対策関係法律の改正を求める意見書【P14に掲載】	
委発第1号	東京電力福島第一原子力発電所事故により発生した処理水の海洋放出決定について十分な説明と慎重な対応を求める意見書【P14に掲載】	

## ○陳情の受理

陳情番号	件名	陳情者等の氏名	結果
陳情第4号	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書を国に提出することを求める陳情	選択的夫婦別姓制度全国陳情アクション仙台支部 代表 真野 美沙子	配布のみ

## 議員の会議等出欠状況

令和3年4月1日～6月30日

出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：—

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
				伊藤貞悦	橋元伸一	岩佐秀一	大和晴美	渡邊千恵美	高橋眞理子	竹内和彦	遠藤龍之	岩佐孝子	阿部均	菊地康彦	高橋建夫	岩佐哲也
4	12	月	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	13	火	議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○
	14	水	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	14	水	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	20	火	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	21	水	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	23	金	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	23	金	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	27	火	第2回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	7	金	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	水	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	13	木	仙南・巨理地方町議会議長会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	19	水	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	20	木	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	24	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	31	月	県町村議長会臨時会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
6	1	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	水	議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○
			第2回議会定例会（6/4・8・9・11）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	金	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	7	月	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	10	木	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	10	木	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	17	月	議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○
	22	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24	木	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	30	水	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—

## 議長交際費

区 分	4月		5月		6月	
	金額(円)	内 容	金額(円)	内 容	金額(円)	内 容
会費	0	—	0	—	3,000	議員OB会 総会
慶 弔	38,660	元議員葬儀 香典、生花代 ほか1件	0	—	21,500	元議員葬儀 香典、生花代
その他	0	—	5,000	原水爆禁止国民平和 賛助金	0	—
合 計	38,660		5,000		24,500	



**山元町ふるさと歴史学習会「邑史会」** ゆうしかい 会長 増澤淳郎氏 (会員40人)

ふるさと歴史学習会は、昭和63年度町教育委員会が、「郷土の歴史・文化財を学ぼう」と高齢者活動促進事業の一環として開催しました。

その後「邑史会」として、長い歴史をその時代の人々に守られ引き継がれた祖先の貴重な遺産を学び、後世に伝えることを目的に、自主的に郷土の文化遺産を守り、文化向上に寄与しようと「茶室」<sup>ごびょう</sup>「御廟」(おたまや)「中島館跡」などの草刈り・標柱清掃等を約30年間継続して実施しています。また毎月第4水曜日午前9時30分から、遠いのにしえをひもとき郷土愛を育む講演会、移動研修会等も実施しています。

皆様もぜひ郷土の歴史文化を一緒に学んでみませんか。



**お知らせ**

令和3年

**第3回山元町議会定例会 (予定)**

会期: 8月31日(火)

～9月16日(木)

開会: 午前10時

本会議: 8月31日・9月2日・3日・7日・16日

(一般質問は、9月2日・3日です。)

**町ホームページをご覧ください**

山元町議会で **検索**

- 議会中継(録画配信)
- 会議録
- 議決結果
- 議員、委員会等名簿
- 会期日程
- 議会だより
- 決議

以上の内容を掲載しています。

**編集デスク**

町内におけるコロナ感染症予防接種が着実に進み、1日も早くコロナ感染症が収束し平穏な日常が待ち望まれます。

2月の福島県沖地震で被災した議場の修復を終え、令和3年第2回山元町議会定例会を開催し、議員9名の一般質問、報告3件、承認7件、議案3件(内容は条例の改正と一般会計補正予算、水道事業補正予算)を可決し閉会しました。

地震や水害の自然災害で生活再建が優先され、また、コロナ感染症で友人との旅行や集団活動が制限されたこの1年でした。

議会においても解決しなければならぬことがたくさんあります。今後とも温かいご支援をお願いします。

(伊藤 貞悦)

**〈議会広報・広聴常任委員会〉**

- 委員長 岩佐 孝子
- 副委員長 高橋眞理子
- 委員 伊藤 貞悦
- 委員 岩佐 秀一
- 委員 大和 晴美